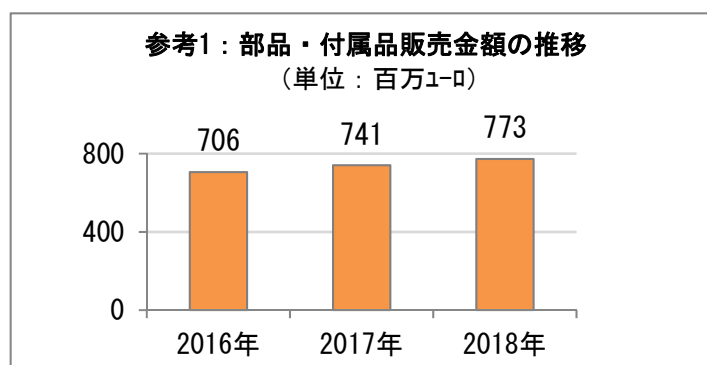
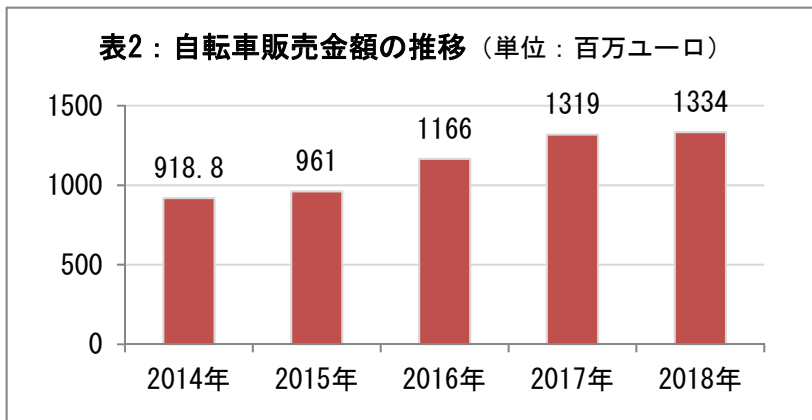
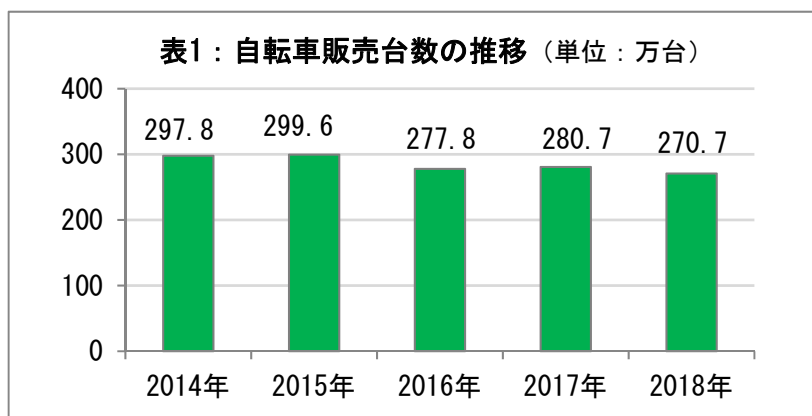


フランス自転車市況－2018

1. 販売

フランスのスポーツ・サイクル用品の業界団体「Union Sport & Cycle」によると、2018年自転車販売台数は前年比3.6%減の270.7万台となり、2012年に300万台を割り込んでからは低迷している。一方、自転車販売金額は、前年比1.1%増の1,334百万ユーロ(1,654億円)と僅かではあるが増加しており、2011年以降は増加が続いている。なお、部品・付属品(P&A)の販売金額は、前年比4.3%増の773百万ユーロ(959億円)となった。



2018年自転車平均販売価格は、前年比4.9%増の493ユーロ(61,132円)に上昇した。2014年以降上昇が続く主な要因は、販売価格の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売台数が年々

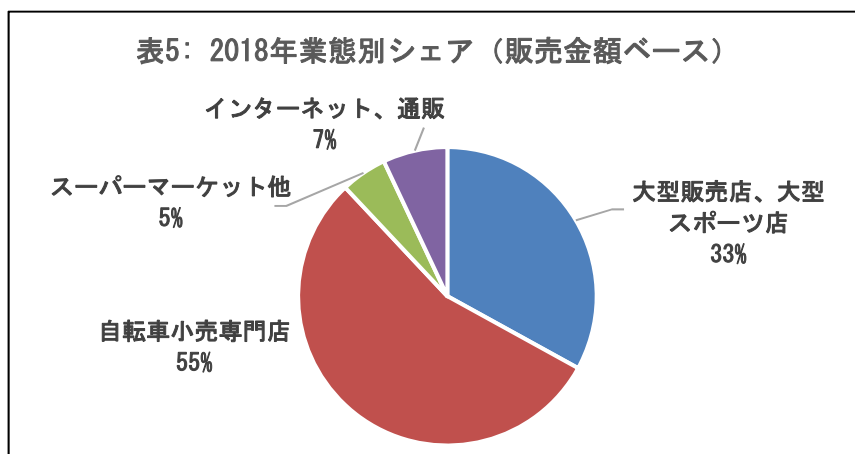
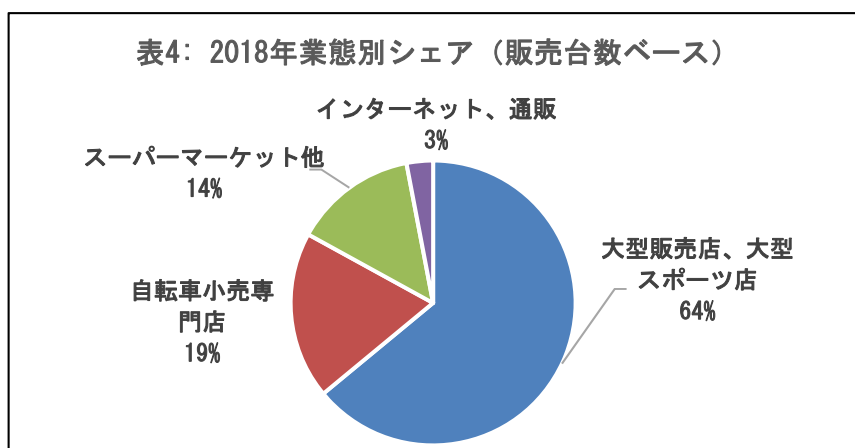
増えているためとみられる。なお、EPAC の平均販売価格は同比 0.5% 増の 1,585 ユーロ (196,540 円) であった。

表 3：平均販売価格の推移（単位：ユーロ）

年	2014	2015	2016	2017	2018
平均販売価格	307	321	337	470	493

2. 業態別販売動向

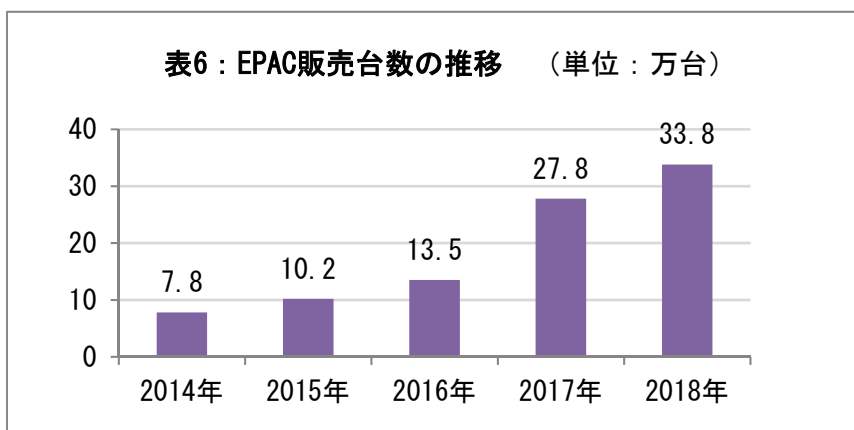
2018 年業態別シェアは、自転車販売台数でみると前年と同じであった。フランス市場では Decathlon 等の大型スポーツ店等が販売台数シェア 64% と最大であり、自転車小売専門店は 19%、スーパーマーケット等の量販が 14%、インターネット通販は 3% となっている。しかしながら、自転車販売金額でみると、大型スポーツ店等は前年より 1 ポイント増の 33% となったものの、自転車小売専門店は前年同様の 55% で過半数を占めており最大である。なお、量販等は前年と同じ 5%、通販等は 1 ポイント減の 7% であった。



3. EPAC 販売動向

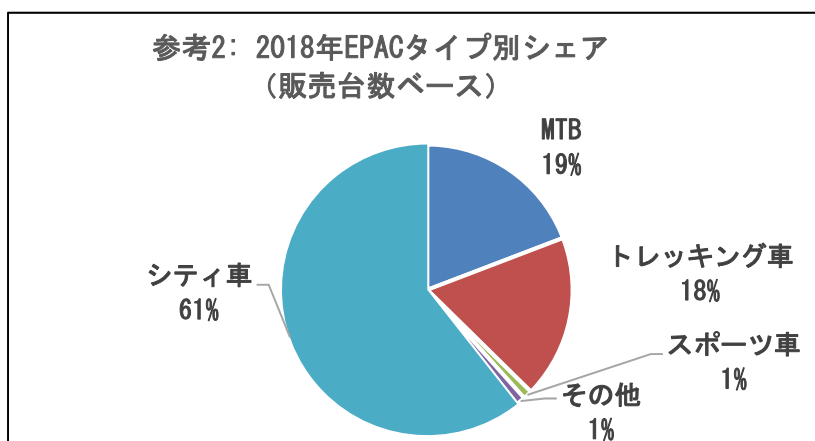
2018 年電動アシスト自転車 (EPAC) の販売台数は前年比 21.6% 増の 33.8 万台となり、倍増した 2017 年には及ばないものの、2 ケタの伸び率をみせた。車種別販売比率 (販売台数ベース) で EPAC は 13% のシェアとなった。

また、EPACの販売金額は535百万ユーロ(663億円)に達し、自転車販売金額全体の4割を占めている。



EPACの車種タイプ別販売台数のうち、街乗りが主体のシティ／トレッキング車タイプは、前年比20%増の26.5万台となった。ドイツを中心に欧州で人気広がる電動マウンテンバイク(E-MTB)は、同比85%増の6.6万台と大幅に増加した。

なお、車種タイプ別シェア(販売台数ベース)をみると、E-MTBは前年より5ポイント増の19%となったが、シティ／トレッキング車タイプは7ポイント減の79%であった。



仏ブランドのE-MTB (左：LAPIERRE、右：MOUSTACHE)

以上

統計出所：Union Sport & Cycle、 写真：EUROBIKE2018にて筆者撮影